

2/27 アカデミックDay2016

神戸三田キャンパス アカデミックコモンズで開催

関西学院大学神戸三田キャンパスにあるアカデミックコモンズでは、2013年4月の開設以来、毎年定期的に地域の小学生を対象にしたイベント「アカデミックDay」を開催している。同イベントはアカデミックコモンズで活動する「アカデミックコモンズ・プロジェクト」の学生が企画、運営し、イベントを通じて、子どもたちに新しい「気づき」や「出会い」を提供している。

2月27日(土)に実施する「アカデミックDay 2016」では、「ゲームから、世界を考えよう!」と「リズムライトを作ろう!!」の2つの企画を行う。

【ゲームから、世界を考えよう!】

小学生全学年が対象。現在、世界で発生している様々な問題、課題を小学生に理解してもらい、国際的な興味や関心へとつなげることが目的。今回は難民問題を取り上げ、ゲーム形式で、参加児童が難民になりきってチームで協力し、安全な国(ゴール)への脱出を目指す。現在の世界情勢について学べる項目が多数用意されている。



(企画・実施: アカデミックコモンズ・プロジェクト『PIECE☆』)

【リズムライトを作ろう!!】

小学4年生以上が対象。プログラミングは誰でも楽しめることや自分で考えてモノを作る楽しさなどを感じてもらうことが目的。



参加児童は、子ども向けプログラミング言語「Scratch」を使用して、オリジナルの点滅パターンなどLEDライトを光らせるプログラミングを行った後、電気回路を作成して、

プログラミングしたとおりLEDライトが光るかどうか実験を行う。

(企画・実施: アカデミックコモンズ・プロジェクト『Feel Learning~感学』×『Made in Academic Commons』)

■日時: 2月27日(土)9:30~12:20

■場所: 神戸三田キャンパス アカデミックコモンズ

■問い合わせ:

神戸三田キャンパス事務室 TEL 079-565-7600

次号 2月29日(月)発行予定

左腕に託された古豪復活
そして、東京五輪の夢をもう一度

全日本女子チーム監督として東洋の魔女を率いて1964年東京五輪で金メダルを獲得した大松博文氏、選手として1964年東京五輪に出場し銅メダルを獲得した小山勉氏を輩出した関西学院大学体育会バレーボール部。全日本インカレ優勝3回、関西1部リーグ優勝36回(春15回・秋21回)を誇るが、昨今では全日本はおろか関西1部リーグ優勝も1969年秋リーグを最後に遠ざかっている。(昨季1部リーグ5位)

そのような中、バレーボール部の安田一貴さん(社会学部3年生=写真)は、日本バレーボール協会が2017年台湾ユニバーシアードと2020年東京五輪を見据えた強化の一環である大学男子強化合宿などに強化対象選手として召集されるなど、古豪復活の期待を一身に背負っている。

また、同合宿が2017台湾ユニバーシアードの事実上の選考となるだけに、まわりの期待や夢は膨む。もちろん、本人も「夢は2020年東京五輪出場」と意気込んでいる。



しかし、そんなに甘くないのが全日本チームへの道だ。今回の合宿はあくまでユニバーシアードに繋がるものであって、日本最高峰の「V・プレミアリーグ」の選手がライバルとなる全日本チームへの道のりは果てしなく遠い。また、今回の合宿に召集されたメンバーは日本一を狙える強豪校の選手ばかりで、タイトルから遠ざかっている関西学院大の安田さんはあまり知られていない存在だった。それでも「だからこそ、やってやろうと思いました」と気を吐くとともに、「彼らの練習に取り組む姿勢や基本に対する意識は高かった」とライバルたちから学ぶ姿勢も忘れず、夢に向かって確実に歩み始めている。

今は、4月から開幕する関西1部リーグに向けて、基礎練習やトレーニングに精を出す安田さん。「優勝を狙える力はある。今年は自分が勝負どころで決め、オフェンス面からチームを引っ張って優勝したい」とエースの自覚をみせ、古豪復活を誓った。4月から約2カ月間にわたって繰り広げられる熱戦の話題の中心にいる安田さんが今から楽しみだ。

